

## 勇敢でありなさい **Take Heart**

下記は、ウオッチマン・ニーの著書、『アブラハム、イサク、ヤコブの神』からの抜粋です。

「神がアブラハムに、妻サラが息子を生む、と繰り返し言われたとき、アブラハムはひれ伏して笑った。彼は神を笑ったのだろうか。(創世記 17:17)

そうではない。アブラハムは自分自身を笑ったのだ。彼の状況から言って、それは不可能ではなかった。しかし、そのような状況の只中であって、アブラハムは神を信じた。

不思議なことに、困難のない状況では神を信じるのは難しく、大変な状況では神を信じるのはたやすい。困難のない状況は、人が神を信じるように仕向けない。

人は絶望的な状況に遭うと、真に神を信じるようになる。このゆえに、神は私たちを常に二つの方法で導く。私たちを状況において行き止まりに置き、私たちの肉が死ななければならないようにすることによって、御自分に信頼させるのである。

状況による学びは外的なものであり、割礼による学びは内的なものである。

サラの胎が弱っていたということは、どうにもならない状況にあったということである。これは外的なことである。

アブラハムが割礼を受けたことは、アブラハムの肉が死んだということである。これは内的なことである。

私たちは神を信じられるようになる前に、自分自身を終わりにしていただかなければならない。肉が取り扱われているなら、状況がうまく行っていようと困難であろうと、私たちは神を信じることができる。

神は、二心の信仰ではなく、純粋な信仰を求めておられる。私たちは、物事が輝かしく、自分に自信がある時だけ信じるようであってはならない。私たちはただ、神が語られたゆえに信じるべきだ。

アブラハムは、13年前にはそのように信じることができなかった。しかしこの時、自分の体は死んだもの、妻の胎は弱っているものとして見ることができるようになっていた。

この時にアブラハムが持った信仰は純粋な信仰であった。神だけを信じる信仰となった。以前の信仰は、神と自分自身の両方によるものであった。

自分のあらゆる力がなくなり、自分の中には何も残っておらず、全てが終わっていたから、アブラハムの信仰は神にのみ依り頼むものとなっていた。アブラハムの笑いはこのことを裏付けている。彼にとって、自分の中の全てのものは終わっていたのだ。」

私たちは皆、難しい状況に直面します。神さまの介入なしには解決も解答も見つからない状況です。

そのような状況は、私たちが神さまの御前に導き、神さまの方にもまっすぐ向かせ、向き合わせ、御手にのみ信頼させます。イエスは、ヨハネ 16:33 であらかじめ警告されています。「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

神さまは決して、私たちが自分の意志で生きるように計画されてはおられません。我が道を行き、自力で物事を行うと、フラストレーションや痛みや魂の苦悶に突き当たることがしばしばです。神さまが夢見ておられたのは、最初から、世界の基が据えられるよりも前から、御自分の御性質・御栄光を、呼吸の一つひとつに至るまで映し出す家族を地上に持つことでした。神さまが意図されていたのは、私たちが神さまを御言葉通りに信じ、その場所から十全に生きる民となることでした。ヤコブ 1:2-8 にはこうあります。「私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰がためされると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます。ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。そういう人は、主から何かをいただけたと思っただけではありません。そういうのは、二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を欠いた人です。」

私たちの人生において神さまがどのような方であるか、議論しているような暇は私たちにはありません。神さまは私たちの全ての全てです。神さまは、御自身の内の何か一部や断片を下さったのではなく、キリストにあって全てを下さったのです。私たちは良いものに欠けることはありません。

ウオッチマン・ニーは、アブラハムの人生には二心の信仰の時期があった、と言っています。一部分は神さまに信頼し、残りの部分は自分でできることに信頼していました。だから神さまは、アブラハムが自分の力では実現できなくなる時まで約束の成就を遅らせられました。こうして、信頼が神さまに置かれ、約束が成就したのです。

神さまは私たちにも同様になされます。私たちの信頼が強められ、神さまにだけ信仰を持つようになるため、状況が困難になるのを許されます。病気の宣告を受ける。失業する。そこで助けが与えられる唯一の道は神さまです。医者には助けをすることができません。薬も役に立ちません。銀行口座は空っぽです。しかし、神さまは私たちの全ての全てです。しかも、神さまは私たちには何かを与えるために来られるのではなく、御自身を与えるために来られるのです。

## 個人的な適応

1. 現在あなたが直面していて、自分の力で解決できる状況は何ですか。
2. 現在あなたが直面していて、自分の力で解決するのが不可能な状況は何ですか。
3. アブラハムが、神さまの御約束が成就するには自分の力では十分でない気が付くのに、

13年かかりました。神さまはそのことにイライラなさいませんでした。神さまは、アブラハムやサラの年齢によって焦ることはありませんでした。二人が子どもを産めない年になったからといって、嘆かれることはありませんでした。

**イザヤ 55:10-11** 雨や雪が天から降ってもとに戻らず、必ず地を潤し、それに物を生えさせ、芽を出させ、種蒔く者には種を与え、食べる者にはパンを与える。そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。

神さまがあなたの人生のある領域に触れられた、と感じられるまで、長い間待ったと思われることを思い返してみましよう。待つことがあなたの人生に良い働きをしたことが分かりますか？もし分からないようなら、自分の考えをジャーナルに書き出し、神さまの目でその状況を見られるように自分の目を開いてください、と神さまに願ってください。

4. 2コリント5:7に、私たちは見るところによってではなく、信仰によって歩んでいると書かれています。これはあなたにとって、どういう意味ですか？

## ライトハウスのための実践的な適応

1. あなた方の町に、神さまによって贈り物として植えられたライトハウスとして、グループのメンバーの賜物や能力で解決できる、どのような状況に直面していますか？
2. ライトハウスとして、グループのメンバーの賜物や能力で解決できず、グループ全体で神さまに依り頼むほかない、どのような状況に直面していますか？
3. ライトハウスとして、主から与えられてまだ成就していない、どのような約束がありますか？その約束が成就するために、主とどのようにパートナーシップを組んでいますか？
4. ライトハウスとして、どのような課題を主はグループに与え、その町のために成就するよう言われていると思いますか？
5. 神さまに与えられた課題を実現するために、どのような段階を踏んでいますか？
6. チームは、自分たちの力で課題を達成するために時間を使っていると思いますか？それとも神さまを礼拝し、神さまに感謝して、次に踏み出すべき段階を現わしてくださるのを待っているでしょうか？修正が必要な部分がありますか？答えを記録しておきましょう。